

《沖縄・球美の里との共同企画》

『沖縄県久米島で、福島原発事故で被ばくした子どもたちの為の キャンプ運営を補佐するボランティア募集情報』発表！

「子どもたちと遊び共に学ぶワークキャンプ 沖縄県久米島 16日間」

特定非営利活動法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)は、1990年より23年間にわたり、合宿型のボランティア活動、「ワークキャンプ」を国内約50カ所・海外約100ヶ国で開催する。沖縄県久米島では今年が初開催。

共同企画する、「沖縄・球美の里」は、福島原発の事故により被曝した子ども達が心身の健康を取り戻すために、DAYS JAPANの広河隆一さんを世話人として2012年7月にオープンした保養施設。アーティストの石井竜也さん始め、多くの人々が支援に大きく関わり、7月5日から子ども達の受入を始めた。

《ワークキャンプのポイント》

福島の子供達が久米島の自然豊かな土地で、人々の心に支えられながら数週間を過ごし、きれいな環境でのびのびと遊びながら過ごすことで、ストレスや体内被曝の進行から解放され、抵抗力、免疫力をつけることが目的。安全な環境で数週間過ごすことで体内の放射能がかなり軽減されることがチェルノブイリ事故後にも実証され、NICEでは90年代半ばのベラルーシの子どもキャンプにボランティアを派遣したこともある。

今回のワークキャンプでは、主に子ども達との遊び・話し相手、水泳等の見守り・安全管理。その他にも、料理・掃除等の生活面での補佐や、施設の整備・改修、地域での農作業補佐等、必要なことを行う。

『沖縄県久米島町で福島の子供キャンプ運営補佐の国際ワークキャンプ』

●開催日時①：2012年11月7日(水)~11月22日(木)

②：2012年12月25日(火)~2013年1月7日(月)

●開催場所：沖縄本島那覇市の約100km西で、東シナ海に位置。年間平均23.2度で1年中温暖なため、マンゴー等のトロピカルフルーツも育つ。美しい自然を誇り、くるまえびの生産は日本一、久米島紬や泡盛も有名。

●宿泊：「球美の里」の別棟(交代で子ども達と同じ部屋に宿直も)。食事は提供されるものを子ども達と。寝袋必要

●備考：理念に賛同し、子ども好きで、意欲・協調性・責任感・柔軟性が十分ある人。子ども活動の経験・技能も歓迎。

《「沖縄・球美の里」とは》

「沖縄・球美の里」の、宮崎駿さん作のシンボルマークはみんなで力を合せてオールを動かし漕ぎ出す船の形であり、原発事故で失った大切なものを見つめ、多くの人々が力を合せて子どもたちの未来のために漕ぎ出していくことを意味しています。団体の経費のすべては、善意の募金によって賄われます。また久米島町の町をあげての無償の支援を受けています。施設建設には、のべ数百人にもおよぶ町民のボランティアの支援を受けました。理事と職員は、まずボランティアの皆さんと久米島町への、深い敬意と感謝を抱いています。

《現在のボランティア参加決定者状況》

年齢は22才~50才まで。出身は、大阪・佐賀・福島など全国各地から集まります！！

